



本通信は、当センターへの相談ケースや、皆様に知っていただきたいことなど、様々な内容について掲載しています。



2025年
冬号

北海道立向陽ヶ丘病院

認知症疾患 医療センター

☎ 093-0084
北海道網走市
向陽ヶ丘1丁目5番1号

TEL/FAX(直通)
0152-44-0500



お問い合わせ、ご相談
等の際は、上記までお
電話をお願いします。

Dementia Disease Medical Center

DDMC communication

北海道立向陽ヶ丘病院 認知症疾患医療センター通信

研修会開催のご報告

2024年11月15日(金)、当院大会議室にて、医療・介護等、認知症の方を支援する皆様を対象に研修会を開催いたしました。

今回は、当院薬局の中島専門員を講師に、『高齢者に処方される睡眠薬について』というテーマでご講演いただきました。

高齢の方は薬剤成分が体内にとどまりやすく、倦怠感や日中の眠気、ふらつきなどの副作用が出やすいこともあり、専門職には、安全な服薬指導や管理が出来るよう正しい知識の習得が求められます。

講演会では、高齢者の睡眠の特徴、睡眠薬の種類、使用に際しての注意事項、当院事例等、約1時間をかけ丁寧に解説していただきました。

研修会後のアンケートでは「作用機序が理解できた」「睡眠薬の種類別のメリット、デメリットが理解できた」「筋弛緩作用、転倒のリスクについて理解できた」等の感想をいただきました。今回の研修テーマになった睡眠薬に関する事で、ご質問やご相談等ありましたら、当院認知症疾患医療センターへお電話をお願いします。



「ほっかいどう希望大使（認知症本人大使）」のご紹介

「ほっかいどう希望大使（認知症本人大使）」とは、認知症になっても希望を持って暮らしていけることを発信する、認知症ご本人の方々のことです。認知症当事者の方々やご家族などに希望をもたらし、認知症の方への理解を深める役割を担います。

松本 健太郎さん 50歳（2024年8月現在）、赤平市在住

燃料・設備販売の会社で営業として働いていた48歳の時に、若年性アルツハイマー型認知症と診断される。現在も同じ会社に継続勤務している。

横山 弥生さん 54歳（2024年8月現在）、江別市在住

仕事や家事に追われる日々を過ごしていた51歳の時に、若年性アルツハイマー型認知症と診断される。診断後、シンガーとしてライブ活動を始める。

竹内 瑠璃子さん 77歳（2024年8月現在）、札幌市在住

72歳の時に、アルツハイマー型認知症と診断される。現在、要介護3で、夫や周囲と支え合いながら生活している。

主な活動内容は、認知症の普及啓発活動への参加・協力や道の認知症施策への意見提案など。

任期は2年間で本人の希望により再任可能。

詳しくは、北海道保健福祉部 福祉局高齢者保健福祉課
ホームページ等でご確認ください。

